

児童発達支援 As iz 小松川教室

記入年月日:令和 7年 1月 20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		一人当たりの面積はもちろん、備品等のレイアウトによる環境構成も工夫を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	基準を満たしているかつ、利用児童を踏まえて日により配置数の工夫を行っている。利用児童の人数と特性によっては配置が足りないと感じる場面もある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	玩具は種類別に整理し視覚的に認知しやすいよう個々のマークを目印にしイラスト等を活用している。バリアフリーに関しては玄関には段差があるが、室内は各室内、また通じる経路に段差は設けていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1	支援前後での清掃を行っている。活動内容に沿ってコーナー分けを行う等の環境設定を工夫している。消毒や選択等の対応はより徹底を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		職種や雇用形態にとらわれず、職員全体が参画している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		5	開所年度に当たるため過去の評価アンケートは今回が初の実施。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		5	開所年度に当たるため今回が初の公表。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	今回が初の公表かつ現在は保護者の方の評価と社内評価のみだが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		社内研修を通し各種マニュアル、支援方法、提供記録の書き方等についての研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		アセスメントシートを活用し、保護者や児童のニーズを汲み取り個別支援計画を作成している。必要に応じて発達検査の結果や他事業所の個別支援計画を共有いただき参考にしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		支援システムのアセスメントツールだけでなく、事業所独自にアセスメントシートを作成しており、その内容は5領域はもちろん、家庭や学校等の状況把握、児童の得意不得意、配慮すべき点等も盛り込んでいる。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		アセスメントシートを活用し、保護者や児童のニーズを汲み取り個別支援計画を作成している。必要に応じて発達検査の結果や他事業所の個別支援計画を共有いただき参考にしている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	全体活動だけでなく、個々の支援内容を踏まえた個別支援を日常の中で取り入れている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	プログラムの内容は日々の利用児童の特性を踏まえたうえで工夫を行い、職員全体で考案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		5	活動内容がある程度パターン化している。利用児童と職員配置を踏まえて室内外での活動内容に今後工夫を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成しているか	5		主には集団活動を設定しているが、個々の特性やニーズに応じて個別での活動を取り入れる工夫を行いながら個別支援計画も作成している。
	17	児童発達支援計画に基づき、支援を実施しているか	5		個別支援計画で立てた個々の目標を踏まえて支援を行っている。
	18	児童発達支援計画に記載した目標が達成できているか	5		個人差はあるが、児童によっては達成できている。利用頻度によっては達成が難しい場合もケースとして見受けられる。
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	支援前の時間に全体MTGを行い、その日の利用児童の確認と活動内容、役割決めを行っている。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		送迎終了後に職員全体で振り返りと次回に向けた反省を行っている。気付きや課題、反省点等を確認し翌日の全体MTGで共有を行い記録し、内容によっては仮説と検証を行っているが、仮説、検証、改善はより質を高めていく必要性を感じている。
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		5	
22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		基本的には6か月に1度のモニタリングを行っているが、場合によっては6か月以内に行う機会を設けている。	

関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		開催される場合には管理者または児童発達支援管理責任者など、適任者を選び出席している。	
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		現状は発達支援センターや他事業所等の専門機関との連携のみで、母子保健や子ども・子育て支援等との連携は行っていない。	
	25	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-	-	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	
	27	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		保育所等への訪問や個別支援計画の共有等を行っている。	
	28	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		就学先への情報共有や連携を図る機会は現状設けることができていない。	
	29	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		相談支援員、別の事業所への訪問やケース会議への参加等を通して連携を図り、支援に関する情報共有や助言をいただき、その内容を踏まえた一貫性のある支援を心がけている。	
	30	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	現状機会としてはないが近隣の公園等の利用により二次的に交流が生まれる機会がある。	
	31	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5		現状、協議会への参加はしていないが、要請があれば参加する体制を整えている。	
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		日常的に状況をシステムや送迎時に保護者と共有している。必要に応じて個別に面談の機会を積極的に設けるようにしている。	
33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5		保護者向けの研修会等は現状行っていないが、今後は保護者交流も含め機会を設けていきたい。		
保護者への説明責任等	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に必ず説明を行っている。	
	35	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		個別支援計画を作成後、保護者への説明を行ったうえで保護者のサイン、捺印をもらう形で同意を得ている。	
	36	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		相談には適宜応じる体制を整えており、必要に応じて面談の機会も設けている。相談内容を踏まえて情報提供やアドバイス等を行っている。	
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		保護者会等の機会は現状設けることができていないが、今後は父母会等の保護者同士の繋がりをつくる機会を設けていきたい。	
	38	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		相談等には迅速に対応し、希望や要望等に関しても可能な限り応える等の柔軟な対応を行っている。	
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		現状として会報の発行は行っていないが、定期的な情報発信を今後工夫していきたい。	
	40	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		個人情報が記載されている書類等は施錠できるキャビネットでの保管を行っている。	
	41	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		視覚的にわかりやすいイラストや写真、絵カード等を日常の中で活用している。個々の特性に応じて意思疎通の方法を児童や保護者に合わせるようにしている。	
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		現状は行っていないが、行事の一環として地域住民や児童の家族(兄弟児等)が参加できる活動内容を計画する提案等も職員から出ていることから、今後は計画、実施までを行ってきたい。	

非常時等の対応	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	各種マニュアルを整備している。保護者へはHPに掲載し周知を行っている。
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1 児童を含めた避難訓練の実施に加えて職員間での社内研修、訓練を年間計画に沿って実施している。
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	服薬や病歴等に関してはアセスメント時に必ず確認し記録している。服薬は専用のシートにて一覧化し職員全体が確認、把握できる工夫を行っている。
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	アレルギーの有無、詳細をアセスメント時に必ず確認するようにしている。有無、配慮、留意点等に関しては職員全体が確認できるよう専用のシートで一覧化している。
	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	事例があった場合には全体MTGで共有、ヒヤリハットの作成を行い、職員全員が確認できるよう専用のシートにて記録している。
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	研修の実施に加えて事業所、職員による虐待防止チェックシートを活用し実施している。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	身体拘束に関しては、利用児童の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識としている。保護者には契約書に記載し説明している。対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制がある。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。